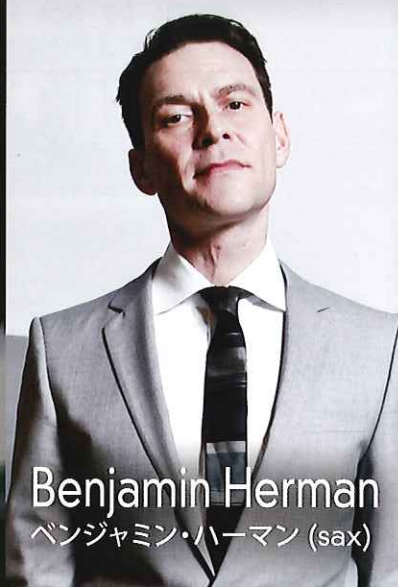


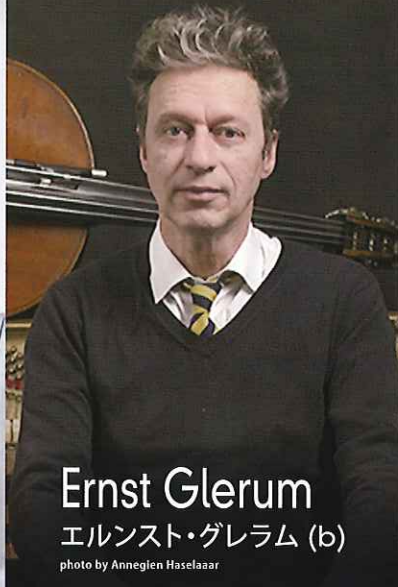
和と洋の歴史が生み出す非日常の空間で楽しむオランダジャズ



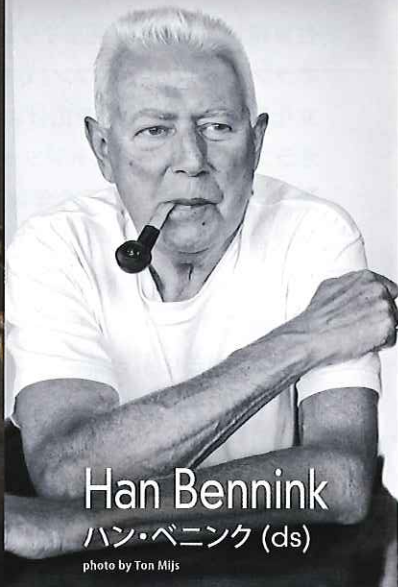
Peter Beets
ピーター・ビーツ (p)



Benjamin Herman
ベンジャミン・ハーマン (sax)



Ernst Glerum
エルンスト・グレラム (b)
photo by Annegien Haselaar



Han Bennink
ハン・ベニンク (ds)
photo by Ton Mijs

東京 JAZZ CIRCUIT

オランダ JAZZ in SAGA 2017

The Quartet NL.

8/31 (木) 浪漫座

18:30 open / 19:00 start

佐賀市柳町2-9 佐賀市歴史民俗館・旧古賀銀行内

自由席(定員150名) ㊤ 一般・大学生 ¥2,000 ㊤ 高校生以下 ¥1,000 ※未就学児 無料 ※料金は税込

9/1 (金) 佐賀城本丸歴史館

18:30 open / 19:00 start

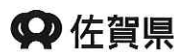
佐賀市城内2-18-1

Opening Act: 佐藤和哉 (篠笛)

自由席(定員150名) ㊤ 一般・大学生 ¥2,000 ㊤ 高校生以下 ¥1,000 ※未就学児 無料 ※料金は税込



主催: 佐賀県 共催: サガテレビ、エフエム佐賀
協力・助成: オランダ王国大使館 制作協力: NHKエンタープライズ
お問合せ: 佐賀県文化・スポーツ交流局文化課
TEL: 0952-25-7236 FAX: 0952-25-7179
メール: bunka@pref.saga.lg.jp



佐賀県は2020年の東京オリンピック・パラリンピックにおけるオランダの「ホストタウン」です。
文化面での交流の輪を広げようと、
オランダのジャズミュージシャンを招いたライブを開催します。

第二回目の開催となる今年は、
世代を超えたオランダのスター級ジャズメンで結成された
ドリーム・カルテットである「The Quartet NL.」が登場し、
最前線のオランダ・ジャズをお届けします。

会場は、昨年に引き続き、ノスタルジックで優雅な雰囲気の魅力の「浪漫座」と、
幕末・維新期の佐賀藩の歴史を今に伝える「佐賀城本丸歴史館」の二会場。

佐賀城でのライブでは、佐賀県出身の篠笛奏者・

佐藤和哉さんとの共演も予定しております。

和と洋の歴史が生み出す非日常の空間で繰り広げられる

オランダ・ジャズのパフォーマンスは、

ここでしか体験できない魅力あふれるコンサートです。

是非、ご家族やご友人と一緒に足をお運びください。



浪漫座



佐賀城本丸歴史館

佐藤和哉 [篠笛奏者・作曲家]
※9/1(金)佐賀城本丸歴史館のみ出演



九州は佐賀県唐津市の海辺に生まれる。篠笛奏者として国内外で活動。2012年、国宝・薬師寺東塔解体式典「宝珠降臨法要」で献笛。2013年、自身作曲の『さくら色のワルツ』が、ゆずの『雨のち晴レルヤ』のモチーフ曲として採用され、NHK朝ドラ「ごちそうさん」主題歌となる。同年、ゆずと共に『NHK紅白歌合戦』に出演。2014年、自身作曲「古道」が、熊野本宮大社「瑞鳳殿」テーマ曲に選ばれる。また同年、作曲参加曲『雨のち晴レルヤ』がレコード大賞 優秀作品賞となる。2016年 佐賀県嬉野市の歌曲を制作。

The Quartet NL.

世代を超えたオランダ・ジャズの名手が結成したドリーム・カルテット！



Peter Beets
ピーター・ビーツ (p)

1971年生まれ。世界中で称賛を受ける、現代を生きる偉大なピアニストの一人である。ジャズ界の巨匠たちとの共演のほか、クラシック音楽のタイムレスなラテン・ジャズ・スタイル編曲を手がけるなど、多岐に渡って活動しており、彼の個性と音楽性は常に作品の中で顕著に現れている。オランダのグラミー賞と呼ばれるエジソン賞(2010年、2015年)など、数々の音楽賞を受賞。ヨーロッパ、アジア、ロシア、アメリカ、日本など、世界各国で公演を行い、東京JAZZをはじめ世界各国の音楽フェスやジャズ・フェスティバルにも出演している。チック・コリアとのピアノデュオ公演を行ったアムステルダム・コンサート ヘボウのメインホールでもトリオ公演を定期的に行っている。2017年の3月にはグラミー賞受賞歴を持つロジャー・ケラウェイとのピアノデュオを行い、6月にはフィラデルフィアとボルティモアでも公演。



Benjamin Herman
ベンジャミン・ハーマン (sax)

12歳でサクソフーンを取り、13歳で既にプロ向けのクラブで演奏、そして数年の内に世界中の様々なグループに参加しながら自身のプロジェクトも率いて活動し、90年代には「ニュー・クール・コレクティヴ」を結成。10代の頃からソロ・アーティストとしても名をあげ、キャンディ・ダルフアー等、一流アーティストの様々な作品に参加し、オランダ国内外で作曲家としてもキャリアを積んだ。ニュー・クール・コレクティヴ等でのバンド活動では、ダンス・フロア・ジャズ、サーフ音楽やパンク、フリー・ジャズ、世界の伝統音楽から影響を受けたライブを披露し、ジャズ以外の様々な音楽ファンをも魅了しており、オランダで最も独創的で多作なジャズ・ミュージシャンの一人として知られている。2017年、18枚目のソロ・アルバムをレコードで発表。2017-18年にはニュー・クール・コレクティヴのアルバムを2枚リリース予定。



Ernst Glerum
エルンスト・グレラム (b)

1955年オランダ生まれ。アムステルダムの音楽大学でクラシックのコントラバスを専攻し、在学中は現代音楽アンサンブルや即興音楽グループに参加。インスタント・コンポーザー・プール(ICP)などのメンバーとして、国外での公演にも多数出演している。ハン・ベニンク、スティーヴ・レイシー、リー・コニッツなど、数多くのアーティストと共演しており、2009年には、オランダの音楽賞であるBoy Edgar Prizeを受賞。作曲家や編曲家としても活躍の場を広げ、弦楽プロジェクトやJazz Samplerのプロジェクト等へ取り組んできた。97年には「Elbow Room」をリリースし、2004年には自身のレーベル「Favorite」を設立。現在は、オランダで最も大きい音楽大学「Conservatory of Amsterdam」でコントラバスを教えている。



Han Bennink
ハン・ベニンク (ds)

1942年4月生まれ。オランダ・ザンダム出身。世界中からリスペクトを集める巨匠ドラマーであるのと同じく、美術面においても偉大なアーティストである。この二面性が彼のパフォーマンスを特別なものになっている。近年ではスネアドラムのみを使用したパフォーマンスを披露しており、木管楽器を使ったプロジェクトや他のミュージシャン達とコラボレーションを次々と共演しており、ジャズの領域をヨーロッパ即興音楽の方向へと押し広げている。彼は、ケニー・クラークやソニー・ロリンスなどのドラマーを模範とし、ミシャ・メンゲルベルク、ウィレム・ブロイカー達に並んで、ヨーロッパのフリー・ジャズを代表するきわめて重要な存在であり、自身のトリオではジャズと即興音楽についての驚くべき洞察をもたらした。2017年6月には、親交の深かったミシャ・メンゲルベルクへの敬愛の念を詰め込んだ追悼ライブ・アルバムを発売。

チケットのお申し込み方法

【チケット申込期間】7/1(土)~7/31(月) [①専用HP]又は[②郵送]にてお申し込みください。

①専用HP 右記のサイトにアクセスし、
必要事項を入力しお申し込みください。

オランダジャズ 佐賀



②郵送 郵便番号、住所、氏名、電話番号、チケットの区分(ⒶⒷⒸⒹ)、
枚数を明記のうえ、以下の宛先へお申し込みください。

〒840-0041 佐賀市城内1丁目6-10

サガテレビ事業企画部内

「佐賀さいこうアートプロジェクト2017」オランダジャズ係

※申し込み多数の場合は、抽選での販売となります。※お1人につき4枚まで申し込み可能です(無料参加含む)。

